各部会の活動の振り返り

情報発信部会

- ・語り継ぐべき経験・教訓の整理
- ・幅広い層に向けた強力な情報発信の仕組 の構築

<方向性>

情報発信のプラットフォームを整備

<主な議論>

情報発信ツール(ホームページ)について

<論点>

- ①どのように見せるか?
- ②どう見てもらうか?
- ③何を見せる(発信する)か?
- ④ドメインをどこに置くか?

(県サーバーなのか、独立サーバーなのか)

⑤立ち上げ後の運営をどうするか?

<現状>

・部会長により試作ホームページ作成

<今年度の動き>

- ・試作ホームページの内容確認
- ・更新を誰が行うか等、運営のあり方を議論
- ・他部会との情報共有・意見交換

環境整備部会

- ・様々な手法・主体による伝承活動が実践 できる環境づくり
- 防災・減災推進の機運醸成

<方向件>

- (1) 学習プログラム作成
- (2)人材育成
- ⇒R6は(1)を中心に進めていく
- <主な議論>
- ①リスト作成(フォーマット) 伝承団体の情報を集約したリストを作成 リストの記載内容を共通化・様式化する
- ②学校の現状・ニーズ把握について 教員が動きやすい環境、児童生徒を受け 入れやすい環境を整備する
 - →現状(ニーズ・課題)を把握し、 学習プログラムに反映させる

<現状>

- ①リストの項目整理・作成
- ②学校への調査の検討 等
- <今年度の動き>
- ①②を継続議論

連携促進部会

・持続的な震災伝承に向けた産学官民相互 (会員間の情報共有)が、それぞれの強み を活かして連携する取組の創造

<方向性>

(短期目標) 会員の活動紹介様式の 取りまとめ・共有

(中長期目標) 会員間の連携事例の蓄積 モデルコースの作成

<主な議論>

- ○会員の活動紹介様式について 企業団体に特化した情報登録フォーム、 活動内容登録フォームについて意見交換
- ※一例として、BCポータルを試用

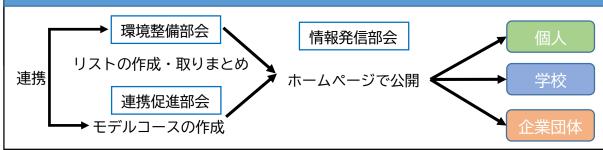
<現状>

- ・会員の活動紹介様式の検討・意見交換
- ・会員間の連携事例の実践 岩沼市内の中学生をモニターとして、 防災キャンプの企画・実施

<今年度の動き>

- ・活動紹介様式・ツールの継続検討
- ・防災キャンプの企画・実施の継続

各部会の連携の手法(ツアーを例にして)



<個人・学校・企業団体のメリット> ○ツアー企画のハードルが下がる

○語り部・伝承団体へスムーズにアクセス可能

○企業⇔伝承団体の連携促進